

Qの会

創刊号



平成17年4月1日

広報部

はじめましてQの会です

〜地道にコツコツ

大胆に〜

昨今、各地域において、糖尿病療養指導士看護の会が設立されています。香川県においても、香川県糖尿病療養指導士看護ネットワークQの会を立ち上げようと、現在プロジェクトチームがその設立に向けて準備をしています。

Qの会は、看護の資格を持つ糖尿病療養指導士と糖尿病に関心のある看護師が互いにつながり、県下の糖尿病看護の質の向上を目指します。

つまり、会員が互いの糖尿病看護に関する実践知を共有しあい、専門的な知識や技術に磨きをかけるとともに、その成果を実践にいかしたり、あるいは研究として報告したりすることで、各々の実践能力を高めます。

また、Qの会は実践現場の看護師のニーズに対応した活動を幅広く展開したいと

考えています。例えば、資格更新のための研修会や講習会等を企画したり、実践に役立つ知識や情報を提供したり等々です。まだまだ産声を上げたばかりの会ですが、熱い会です。皆様の参加をお待ちしています。

Qの会活動方針

看護の資格を持つ糖尿病療養指導士ならびに糖尿病看護に関心のある看護師のネットワークを立ち上げ、活動の連携を促進する

糖尿病とその看護に関する専門的知識・技術を習得する場の提供と支援を行う

研究や実践の報告を通して自己を研鑽する場の提供と支援を行う

実践上の問題・課題を探求し、実践理論の構築や実践に応用・展開する場の提供と支援を行う

糖尿病看護への関心を高め、糖尿病療養指導士の資格所得を促進する

どうして『Qの会』？

私たちは、患者さんのQOLの向上は、看護師の役割として、一番重要なことであると考えます。また、患者さんの心の負担を軽減しながらよりよい自己管理を促すという、社会的使命を担っています。そこで、「QOL」のそれぞれのアルファベットをQの一字に凝縮しました。



Qの会設立準備

メンバー紹介

東讃・中讃・西讃地区から、糖尿病療養指導士の資格を持つ看護師が集まり、月に一度、土曜日の午後、お茶を飲みながら、熱く語り合っています。

この会をとおして多くの方と知り合い、学び合い、支え合っていけたらと願っています

【香川大学医学部看護学科 宮武陽子】

『楽しく生きる』をモットーに、ともに泣き笑い寄り添う看護をめざします

【香川県立中央病院 渡辺祥子】

糖尿病看護の質向上のために、全力投球でがんばります

【香川大学医学部付属病院 藤本さとし】

困っても悩んでも『やっぱり人間ってすばらしい』と思いつつ前走できる会にしたいと思っています

【香川大学医学部付属病院 藤本さとし】

Qの会に参加して、スキルアップしたいと思っています

【香川労災病院 吉川照美】

患者や家族の心や体に寄り添い支援できるよう一緒に学びたいと思います

【高松赤十字病院 浮田清美】

未熟者ですが、頑張りますのでよろしくお願ひいたします

【香川大学医学部看護学科 水野静枝】

糖尿病療養指導士の仲間が一人でも増えるようにがんばります

【三豊総合病院 安藤千恵子】

患者さんが目標をもって主体的に取り組みができるように支援を皆様と一緒に学んでいきたいと思ひます

【さぬき市民病院 石井美千代】

同じ志を持った仲間とのネットワークを大切にしたいと思っています

【坂出市立病院 溝上貴世美】

指導士としては新米ですが、活動を通して糖尿病看護が好きになりたいと思ひます

【KKR高松病院 横山久美子】

糖尿病とともに6年まだまだ未熟な私です。一緒に学んで行きましよう

【香川県立津田病院 串田久美】

情報交換しながら糖尿病指導の役割について勉強していきますましよう

【キナシ大林病院 平川悦子】

編集後記 大地に根付いた木々達がいつせいに新芽がほころび始めた今日、待ちに待った「Qの会」が夢いっばいに花を開きます。色々な事を前向きに取り組んでいこうと思ひます。皆様のご意見をお待ちしています。

広報担当 渡辺祥子